

高森町豊丘村補助金の活用⑦

## X線テレビ装置

4月1日より稼働している、新しいX線テレビ装置を紹介いたします。

導入された装置は、島津製作所製 X線テレビシステム『ソニアルビジョンG4』です。



## X線テレビ装置とは

X線テレビ装置とは、X



診療放射線技師 河野 良典

線を用いてテレビモニターで胃や大腸の透視像をリアルタイムに見ながら撮影するものです。体の中が透視して見えるので各診療科のさまざまな検査が行われます。

テレビ検査では特に造影剤という薬品を使って、通常のX線写真では写らない臓器の位置や形などを確認します。代表的な検査に、検診で行われる『胃バリウム検査』があります。

## 導入した装置の特徴

①『フラットパネルディテクタ(FPD)』というものが搭載されています。『フラッ

トパネルディテクタ』とは、体を透過したX線をデジタル信号に変換して画像を得る最新鋭の技術です。これにより、従来型の装置に比べ高画質な画像を撮影することができます。

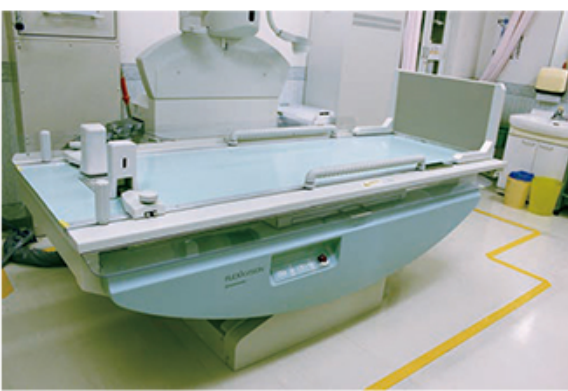


▶普段はこちらに収納されていますが、必要に応じて取り出せます

②パルス撮影や付加フィルターの活用で被ばく線量も従来型に比べ少なく検査することができます。

③視野が広く隅々までゆがみが無いため、情報量が多く、造影剤の位置や、他に疾患があった場合にも見つけやすくなりました。

④寝台昇降や斜入機能、FPDの回転ができ、撮影台がコンパクトでも使いやすいので検査時の移動や、



▶寝台を低くできるため移乗が楽にできます